



生存者のわずかな臭いを嗅ぎつけ災害現場で行方不明者を探し出す災害救助犬。その育成に情熱を注ぐ訓練士の大島かおりさんは、国内外の災害地で救助犬活動を続けている。「犬と何かをすることが面白くて仕方がない」と語る大島さん。広く青い空の下、今日も犬と心を通わせる。

気づいたら犬まみれ

幼いころから無類の動物好きで、高校卒業後は犬関係の仕事をしようと漠然と思っていました。高校の職員室で職業ガイドのページをめくると、仕事として確立していたのは警察犬の訓練士。一大決心をして生まれ育った鹿児島を出て、福岡にある民間の警察犬訓練所に住み込みで入所しました。休みは月に二日ほど、朝から晩まで犬まみれで夜寝ていても犬が吠えればどうしたとどうと駆けつける。今では考えられないような働き方でしたが、そんな風に過ごすうち、初めは顔の見分けさえつかなかった犬たちも、鳴き声を聞いただけでどのコかわかるようになりました。

その後、縁あって横浜の訓練所に入所、見知らぬ土地でしたが、訓練士仲間もでき、ここで独立しようと決めました。24歳の時でした。警察犬の訓練と並行して、ご家庭で飼われているワンちゃんのしつけもしました。私にとって、横浜は都会で華やかな街。緑園都市の辺りに何うと皆さんインテリアも素敵で、犬を介さなければ接点もないような職業の方とお話もでき、仕事が楽しくて楽しくて。若かった私の何よりのモチベーションになりました。

災害救助犬の育成

1995年に阪神淡路大震災が起こり、海外から来た災害救助犬が災害現場で捜索している映像を目にし、衝撃を受けました。当時日本で災害救助犬に関わっている方は少なく、こんなふうには海外から来てくれているのに、日本から出ないのはおかしいよねと。仲間たちと災害救助犬の育成を始め、調べていくと訓練のセオリーが進化していることに気づきました。

若いころ学んだ警察犬の訓練は、軍用犬

訓練の流れをくみ、強制的で威圧的な部分がありましたが、それに対して救助犬の訓練は、「捜索すること」を犬に強烈に好きにさせるという手法。狩猟本能を持つ犬という種は、ハンティング、つまり自分の鼻で生存者を突き止めることで充実感を得るので、だから災害現場でも犬は自発的に捜索をしたくてたまらない。ワクワクしているんです。本来は苦手ながれきの上を歩くことも訓練を重ねることでオリンピック選手のように軽やかに乗り越えます。現場に連れて行くと犬にスイッチが入り生存者の捜索を開始。犬の動きを追うことで臭いが可視化されます。災害救助犬の訓練は、やってもやっても興味が尽きることがありません。

過酷な現場

97年、鹿児島県出水市で土石流災害が起こりました。鹿児島なら土地勘もあるので「行こう」と仲間たちと災害現場へ。現場に到着するとその惨状に言葉を失いました。土砂に流された多数の巨大な岩と倒壊した家屋。その光景は今でも忘れられません。犬の能力を最大限に生かして現場で役に立ちたい。災害救助犬の育成をやり遂げようと心に誓いました。

災害現場では生存者の発見よりも「ここには生存者はいらっしゃいません」とお伝えすることの方が圧倒的に多いんです。それにより、救助隊の方が次の現場へ向かうことができます。生存者発見は時間との闘い。そのため私たちは必ず消防や警察、自衛隊などの救助隊の方々と一緒に行動しますし、平常時から共同訓練を行い、パイプを太くすることを心がけています。

海外と違い日本国内では災害救助犬に関する制度が未だ整っていません。そんな中、能登半島地震の際に岸田首相が「可能な限り救助犬の増強を指示した」と発信したこと



災害救助犬訓練士

大島 かおりさん
Oshima Kaori

1964年生まれ、横浜市泉区在住。民間警察犬訓練所を経て、89年大島ドッグトレーニングスクールを開設。神奈川県警察本部嘱託警察犬指導手を務めるも阪神淡路大震災をきっかけに災害救助犬の必要性を感じその育成に取り組む。その後数々の国際救助犬大会に出場・入賞を果たす。台湾大地震、東日本大震災、能登半島地震など国内外の災害地で救助活動をする。2023年救助犬試験の最高峰といわれる災害救助犬国際出動適性試験に合格。国際救助犬連盟試験審査員、同連盟出動試験評価員、専門学校非常勤講師、大島ドッグトレーニングスクール代表。

災害救助犬国際出動適性試験に合格したパートナーのエンゾウ(ベルジアン・シェパード・ドッグ・マリノア)と

は、私たちの活動がようやく公認されたという大きな一歩だと受け止めています。

世界中の犬と人と

災害救助犬の育成に伴って国際大会への出場や審査員として海外に赴くことも多く、さまざまな出会いがあります。昨年は南米・アルゼンチンで、軍用犬を救助犬にしたいというウルグアイ人や、アルゼンチンに移住して救助犬を育成したいというボリビア人と交流しました。阪神淡路大震災で救助に参加したというフランス人の消防士に会ったことも。若い訓練士たちにも、人とつながることの大切さを日々伝えています。

犬を介して広がる世界。今年はフィンランドで開催される救助犬世界選手権で審査員を務めます。世界中の優れた犬に会えるのも楽しみです。

好きな言葉は「雲外蒼天」

数々の動物文学を残した作家・椋鳩十先生。生涯を過ごした鹿児島では、図書館には先生の全集がバイブルのように並び、子どものころの愛読書でした。先日私のドッグスクールのお客さまが「父は本を書く人だったんです」と話されて、お話を伺ううちに椋鳩十先生の息子さんだということがわかって、もう大大大感激。「将来、横浜で、椋鳩十先生の息子さんの犬を訓練するんだよ」と小学生の私に教えてあげたい。犬は本当に思わぬ出会いに導いてくれます。

犬に生かされてきた人生。犬が生活の全てです。好きな言葉は「雲外蒼天」。たとえ困難でも、雲を突き抜けたら青い空が広がっている。この先壁にぶつかっても、犬とともに社会貢献を続けていきたい。

初心者対象 手結びのきもの着付教室

通常全 8 回 12,000 円 (1 回 1,500 円 × 8 回) → 受講料 0 円

◆カリキュラム◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)
※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

◆開講要項◆

期間/週1回の2ヶ月(応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)
定員/各時間5名
受講料/無料 ※但し教材費として期間中6,900円(税込)必要

教室	9月生		10月生		11月生		時間	会場
	コース	開講日	コース	開講日	コース	開講日		
横浜	木曜	9/26	水曜	10/30	金曜	11/29	A・B・C	横浜駅西口 歩4分
銀座	金曜	9/27	木曜	10/31	水曜	11/27	A・B・C	有楽町駅銀座口 歩5分
新宿	火曜	9/24	木曜	10/31	水曜	11/27	A・B・C	新宿駅西口 歩5分
池袋	火曜	9/24	金曜	10/25	木曜	11/28	A・B・C	池袋駅西口 歩4分

A(10:30~12:00)/B(14:00~15:30)/C(19:00~20:30)

彩きもの学院
お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

https://www.saikimonogakuin.co.jp/

☎ 0120-073005

